

な支援を考えていきたい。

### 柴田安彦（無党派）

### 土地開発公社の解散を

**問** 地価の下落が続く中、公共用地の先行取得を目的とする公社はその役割を終えたのではないかと。

**答** 現在の公社の業務は春日浦分譲地の売却のみである。今後公社の果たす役割が市全体でどの程度あるのか慎重に検討したい。

**問** 春日浦分譲が進まない場合、長期借入の負担で資金ショート危険がある。当面使う予定のない土



土地開発公社で分譲している形原町春日浦の住宅地

地開発基金を活用して長期借入を返済し、公社を解散すべきではないか。

**答** 全国的にも公社が解散の方向に向かっているのは認識している。公社解散の場合の債務については土地開発基金を利用する方法の他にも、公社への補助をしていく方法、市が計画的に土地を買い上げていく方法などがあるので、その中で一番適正な方法を検討し、24年度中には方向性を定めていきたい。

### 松本昌成（公明党）

### 土地開発公社の今後のあり方は

**問** 三セク債を活用し、公社の債務を引き取る自治体が多く、低金利のメリットがあるが活用の考えは三セク債を利用する方法も選択枝にある。24年度中に方針を決める。

**問** 土地開発基金が手付かずだが活用の考えは。

**答** 今、具体的に申し上げる段階ではない。大きな事業への第2の調整基金

という位置づけとしている。

### 「みなし寡婦（夫）控除」導入を

**問** 現在の控除の制度は死別や離婚した方のみを対象とし、非婚の方は対象としない。同じ1人親でも異なる扱いである。みなし寡婦（夫）控除を導入し保育料の差をなくす考えは。

**答** 現状では、全国的にも控除の事例が少ないが、子育て支援の充実のため、前向きに検討していきたい。

### 伊藤勝美（公明党）

### シェイクアウト訓練の導入を

**問** さまざまな人たちがさまざまな場所で同時に行うシェイクアウトという防災訓練がある。減災や自助にとっても有効であると考えるが、市で導入する考えはあるか。

**答** 通常の訓練に加えて、シェイクアウト訓練を行うことは非常に有効と考えている。今年の市民総ぐるみ防災訓練などに利用できるか検討する。

るみ防災訓練などに利用できるか検討する。

### 自然還元式トイレの更なる拡充を

**問** 震災時に一番困ったこととしてあげられるトイレの問題について、公助を期待する声が多いと思うが、現状と次のステップは。

**答** 今年度、2か所設置すると、当初の目標の7つの中学校での設置が終わる。次のステップとして13ある小学校への設置を中心に使用時の作業性も含めた改良型の導入も検討する。

### 鈴木貴晶（無所属の会）

### 食品安全システム認証について

**問** 企業の安全で高品質な食品供給の証明となる認証に対する市の考えは。

### 海のエコラベル（MSC認証）について

**答** 取得条件も厳しそうだが、研究中の段階である。

持続可能な漁業を証明する認証取得の動きに何らかの市の支援は可能か。

### ソフィア看護専門学校 体育館の市民開放を

**問** ソフィア看護専門学校体育館を時間外等に市民に開放することは可能か。

**答** 時間外の市民の利用は、校舎とつながっているセキユリテイの分離や単独利用のためのトイレの設置などの課題はあるが、開放に向けて検討していきたい。



海のエコラベルと呼ばれるMSC認証